

2022年3月9日

各位

オリックス株式会社

ロシア・ウクライナ情勢による当社グループへの影響について

ロシア・ウクライナ情勢による当社グループへの現時点の影響について、以下の通りお知らせします。

なお、当社グループは、これら地域に拠点を持たず、従業員もおりません。

当社グループでは航空機リース事業を展開しており、当社が30%出資するAvolon Holdings Limitedにおいて、2021年12月31日時点でロシア向けに14機ありましたが、現在ロシア国内にあるのは10機（簿価約USD100mil、オリックス持分考慮後）です。これらの機体は保険に加入しています。

航空機リース事業以外では、ファンドを通じた投資残高が約10億円あります。また、欧州等にてRobecoを中心としたアセットマネジメント事業を展開しておりますが、直接的なエクスポージャーはありません。

なお、当社の連結子会社であった弥生株式会社の事業譲渡が、2022年3月1日に完了しました。本取引に伴い、2022年3月期第4四半期の連結決算において、子会社株式売却益 1,632億円を計上する見込みです。

2022年3月期業績見通しおよび通期配当方針につきましては、現時点では変更ありません。

当社グループは、ロシア・ウクライナの問題が早期に平和的解決に向かうことを願っておりますが、今後、情勢の長期化に伴い、当社業績に大きな影響が見込まれる場合は、速やかにお知らせします。

以上

<株主・投資家からのお問い合わせ先>

IR・サステナビリティ推進部 IRチーム TEL : 03-3435-3121

<報道関係者からのお問い合わせ先>

グループ広報・渉外部 広報チーム TEL : 03-3435-3167